



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

三宅地区の町会と合同で

地域防災ネットワークプロジェクト訓練を実施

11月19日(日)に、三宅小学校で、将来を担う子どもたちに対し、自分の身は自分で守るという「自助」、地域の人たちと協力して助け合う「共助」を学ぶ地域防災ネットワークプロジェクト訓練が実施されました。

さらにこの日は、三宅連合町会と合同で訓練が実施され、1～6年生までの全児童および保護者、地域の皆さんが一体となり、バケツリレー競争や、毛布担架競争、教室での煙避難体験、非常食の炊き出し訓練、体育館で心肺蘇生法などがおこなわれました。

地域の皆さんと一緒に訓練やでっ!



▲教室での煙避難体験の様子

学校、保護者、地域の皆さんが一緒になって自分自身、家族、地域を守るために何をすればいいのかを考えるきっかけとなる訓練であり、大変有意義なものとなりました。
また、松原市セーフコミュニティ災害時の安全対策委員会によるアンケート活動も実施しました。

▼問合せ 危機管理課



▲バケツリレー競争の様子



▲毛布担架競争の様子

感震ブレーカー設置補助への啓発活動を実施しています

阪神・淡路大震災、東日本大震災において発生した火災の要因のうち60%以上が電気火災であることが、過去の震災から分かっています。

そこで、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として、電気を止める感震ブレーカーが対策に効果的であるため、災害時の安全対策委員会でも、市がおこなっている感震ブレーカー設置補助について、防災訓練などで普及啓発活動をおこなっています。



詳細については、お問い合わせください。

▶問合せ 危機管理課